

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年11月期調査（2023年1月発表分）

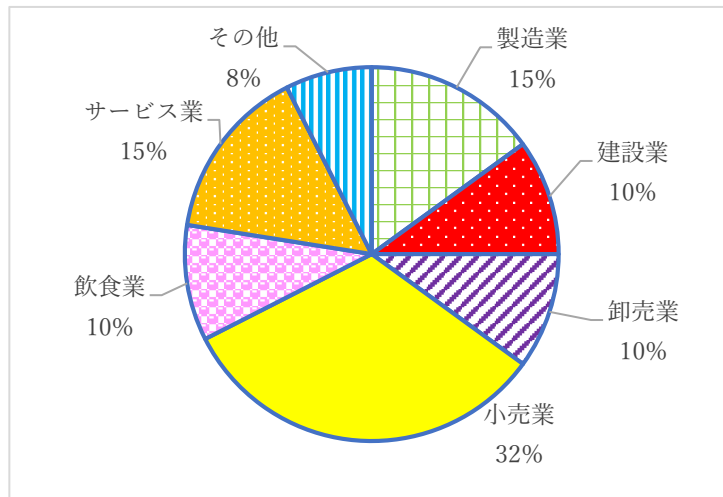
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は41名（回答率は61.2%）

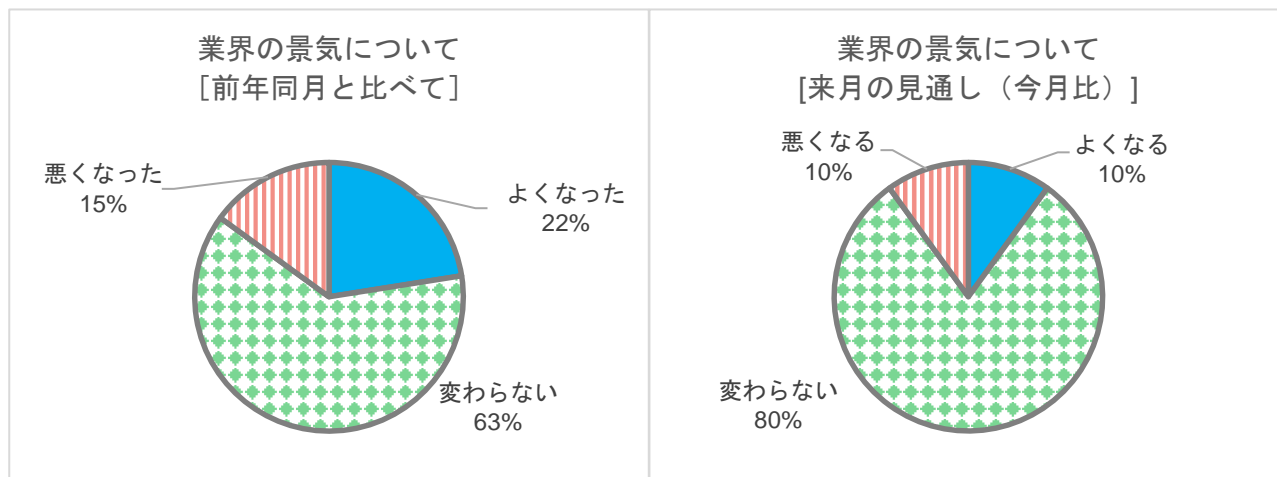
業種	回答者数	構成比
製造業	7	17.1%
建設業	4	9.8%
卸売業	4	9.8%
小売業	13	31.7%
飲食業	4	9.8%
サービス業	6	14.6%
その他	3	7.3%
計	41	100%



調査結果のポイント

<景況>

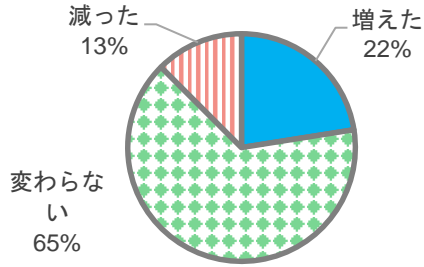
- ・2022年11月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が22.0%、「変わらない」が63.4%、「悪くなった」が14.6%となりました。
- ・2022年12月以降の見通しについて、11月と比較して、「よくなる」が9.8%、「変わらない」が80.5%、「悪くなる」が9.8%となりました。



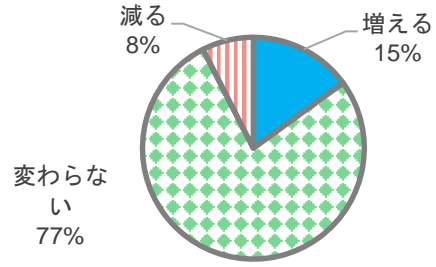
<売上高・受注>

- ・2022年11月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」22.0%、「変わらない」が63.4%、「減った」が14.6%となりました。
- ・2022年11月以降の見通しについて、10月と比較して、「増える」が14.6%、「変わらない」が78.0%、「減る」が7.3%となりました。

売上高・受注量
[前年同月と比べて]



売上高・受注量
【来月の見通し（今月比）】



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県 の物価上昇緊急対策補助金 というものが 28 日に始まったが、当日にシステムダウンして、今現在まだ申請ができない状況が続いている。少しでも補助金が出れば助かる企業がたくさんあると思うが、このような状況になるのはわからなかったのか... と思ってしまう。しっかりやってほしい。 <楽器(製)> ・ 輸入材の価格が下がらない。 <木製品(製)> ・ 御歳暮の配達が多いのか、トラックの配送が遅れていて、資材がいつもより、日数がかかっている。 <木製家具(製)> ・ 仕事量は変わらず何とかこなしているが利益にまでは結び付いていかない。 <物流運搬設備(製)> ・ 電気代・燃料代だけでなく、物価高により利益を圧迫している。自動車の生産は半導体不足により、まだまだ生産調整が実施される見通し。 <事業協同組合(鉄)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先銀行の情報では、住宅の着工戸数が回復してきたとのこと。 <建築工事業> ・ 仕事量は戻りつつあるが、上の発注がタイミングを遅らす傾向があり、短納期が多い。 <サッシ・ドア(製)> ・ 一時期話題になったウッドショックは、今は木材の供給にゆとりがあり、中には木材業者さんから、使って欲しい旨の営業を行う方もあるようだ。 <建築設計業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依然として物価高が続いている。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)> ・ 受注が減少している上に、価格アップがあり経営を圧迫している。 <鑄材(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年、葵東にスターバックスコーヒーがオープンする。高台地区に初めて出店のため、期待している。 <家庭電化製品(販)> ・ 菓子業界も物価高騰の影響をまともに受けて、高騰している材料や包材を売価に反映しきれない傾向が強い。材料などの卸問屋よりも、消費者と交わる小売店が、その影響を一番強く受けている。 <菓子小売業(製・小)> ・ 新車の納期が遅くなっていて、すぐに納車できる人気車種は中古車でも新車価格以上の金額で売買されている。需要と供給のバランスが崩れていて、中古車市場に違和感がある。 <自動車(小・修)> ・ ミシュランタイヤが来年 1 月より価格改定を発表したことで、来年も値上げラッシュになりそうな予感。 <自動車タイヤ(小)> ・ 販売数量はほぼ前年並み。コロナ前にはまだまだ届かない。原油価格は相変わらず高い水準であるが、徐々に減少傾向。政府の補助金により、販売価格は大きな変動なく推移している。なお、灯油の販売量は伸びている。 <事業協同組合(石油)> ・ 今回のワールドカップでも、AV商品の動きは鈍かったようだ。また電気代が値上がりしているのので、省エネ商品に関心が高い。 <家庭電化製品(販)>

小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・年末にかけ野菜・果物の品薄感が心配である。 <事業協同組合(青果)> ・11月は例年に比べて暖かく、ガス・灯油の消費が少なかった。 <燃料(小)>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の仕入価格が上昇しており、売上高がUPしても粗利が増加しない状況である。 <税理士> ・固定出費や、仕込み製造などの値上げに対し、売価の設定に困惑している。 <茶(加・小)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市も有効求人倍率が上がっているように、人財を確保することに困難している会社が多い。 <警備業> ・資材等価格高騰、半導体等の供給不足が続き、資金繰りに影響が出ている。当面続くことを考えると、金融機関を巻き込んだ事業継続のための経営計画の策定が急務。 <税理士> ・パワハラ防止法(中小企業も義務化)への対応だが、加害者が社長だった場合はどうすべきか極めて悩ましいところである。 <社会保険労務士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント業界では、11月は活発な動きがみられた。街中各所での集客を伴うイベントをはじめ、各施設では展示会、講演会も多く開催され、コロナ前の状況復活に期待が持てるようになってきた。 <ディスプレイ業> ・年末年始の飲食は予約が埋まりつつあるようだが、コロナ前には程遠い。年末に閉店する店が出てきている。 <同業団体(商業)>

■新型コロナウイルス感染症の影響

- ・コロナが増えているが、ウィズコロナの経営に落ち着いている感じがする。 <税理士>
- ・コロナの数字やニュースで多少来店数は変動するものの、まとまったキャンセルは無くなった。 <茶(加・小)>
- ・ウイルスにかかる人が増えている。 <木製家具(製)>
- ・コロナ感染者が増えても、他人事のような感じになってきている。当社でも、二次会は禁止という縛りだが、忘年会を行う事にした。 <物流運搬設備(製)>
- ・新型コロナもインフルエンザの同時流行を懸念している。 <同業団体(商業)>
- ・コロナ感染症第8波の懸念から社内の忘年会、新年会の開催は消極的対応となる。 <事業協同組合(ものづくり)>
- ・組合の親睦旅行を3年ぶりに実施したが、出発前にコロナに感染するなど、参加人数が10人まで減少した。 <事業協同組合(鉄)>

■自然災害の影響

- ・災害の復旧工事が多く発注されているが、施工業者・警備会社等の請け負う体制が追い付いていない状況で、この状況はまだまだ続きそう。 <警備業>

■物価高騰・円安の影響

- ・輸入品目が全て急騰しているので、手取りが上がらない中、まだまだコロナ禍の影響が残る日本は、消費が戻りきれない傾向がある。 <菓子小売業(製・小)>
- ・円安の影響を受けている。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)>
- ・仕入商品の価格アップが度々あるが、1月より更に価格アップが多くある。 <鑄材(卸)>
- ・タイヤの仕入価格の相次ぐ値上げに困惑している。 <自動車タイヤ(小)>
- ・相変わらず物価高騰は収まらず、今後も更に上がっていきそうな勢い。今までは何とか値上げせずにやってきているが、そろそろ厳しくなってくる。 <楽器(製)>
- ・今までは値上げをせずに提供してくれていた仕入先も、ここにきて値上げをすると案内がきた。これに伴い当社も値上げの検討をせざるを得なくなった。 <ディスプレイ業>

<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰と円安の影響を受けている。 <木製品(製)> ・相変わらず、材料仕入れの値上げが落ち着かない。 <サッシ・ドア(製)>
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナでの直接の影響と、物価高騰・円安の影響で先行き不安による買い控え等影響を感じる。 <玩具(販)> ・材料、エネルギー高の影響がある。 <事業協同組合(機械)> ・電気料金の上昇、仕入物価の高騰等影響が大きい。 <事業協同組合(ものづくり)> ・エネルギー・原材料の高騰で非常に厳しい状況。 <事業協同組合(鍍金)> ・物価高騰がとまらない。見積り作成、お客様へのお願いで忙殺されている。鳥インフルエンザの影響もあり、卵も値上されている。お菓子の値上も止まらない中で、どれだけ消費者に受け入れられるか心配。 <菓子材料(卸)>
<p>■インボイス制度・電子帳簿保存法について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・規模の大きな取引先から、インボイス制度の問い合わせが来始めている。 <木製家具(製)> ・東京商工会議所の調査で免税事業者の過半数が課税事業者への転換を検討との調査結果が出ている。一方、取引先から課税事業者になるように要請を受けたことがある免税事業者は8%程度であり、これから価格交渉等が本格化することが予想される。政府より緩和措置も出てきているが、自社の対応について早期に検討する必要がある。 <税理士> ・一人親方の外注先に、インボイス制度に対応するように、準備を進めている。対応出来なければ、外注先から外さなければならない。 <家庭電化製品(販)> ・インボイス・電帳法が実際に改正予定となり、とまどっている。 <実業団体(税務)>
<p>■その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は上半期と下半期で雇用保険料率が違う。周知に努めたつもりだが、給料手計算の事業所では以前の率のままになっているケースがみられた。 <社会保険労務士> ・求人に苦慮している。 <物流運搬設備(製)> ・来年の大河ドラマの影響に期待している。 <事業協同組合(飲食店)>

以 上